



埼玉純真短期大学

40

創立40周年記念誌





目次

1	目次・学園訓	15	図書館
3	ご挨拶	16	大学案内表紙
5	40年のあゆみ	17	卒業者数
9	学びの環境	18	就職者数
10	年間行事	19	3つのポリシー
11	学生生活と実習	20	記念式典
12	クラブ活動と学生会	21	記念事業実施委員会・委員名簿
13	地域社会と子ども		



福田 昌子 先生

福田 昌子 (1912-1975)

東京女子医学専門学校 (現東京女子医科大学) 卒業。ヒスタミンの研究が認められ、26歳という史上最年少の若さで医学博士号を取得。1947年(昭和22年)には、衆議院議員総選挙に当選し、政治家としての道を歩む。衛生検査技師法の成立に貢献。1957年福岡に、純真女子短期大学(現 純真短期大学) 開学。女性の高等教育の充実を目指した。



福田 敏南 先生

福田敏南 (1920-2005)

関東における学校展開と、新しい教育への挑戦を目指し、地域発展のための人材育成として幼児教育学科、国際的な人材育成として英語学科を持つ大学の設立を当時の杉戸町議会議員 黒部りつ子氏(黒部喜一初代事務局長夫人)を通じて、第3代羽生市長 須藤忠司氏へ打診。その後、市長と羽生市内を見て回り現在の土地に惚れ込み設立の運びとなる。初代学長に就任。

学園訓

気品

人を勉まし、良き師、良き友を得て、お互いを高め合い、他者として起すべからざる精神性の高きで行動すること

知性

広い視野に立、枝葉末節に拘泥することなく、物事の本質を見定め、考え、判断し、節度を持った行動をすること

奉仕

多くの人に支えられていることに感謝し、利害得失を捨てたときに、心の底から生まれる志に準じて行動すること

純真な人を育てたい

福田昌子先生は「気品」「知性」「奉仕」の精神を備えた女性こそが新しい日本の基盤になるという信念のもと「純真女子学園」を設立
「純真」という名に理想の女性像を描き校名に付けたのでした
彼女の想いは受け継がれ

本学はカリキュラムや教育施設の充実

「気品」「知性」「奉仕」の精神を育む少人数教育を実践することで

高い専門性と広く深い知識の修得を図り

豊かな人間性をもった女性を育みつつつけています

ご挨拶

学校法人 純真学園
 埼玉純真短期大学 理事長 福田 庸之助



時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

おかげさまで埼玉純真短期大学は、創立40年をむかえました。節目となる年を迎えることができましたのも、ひとえに多くの方々のご支援があつてのことと痛感いたしております。特に在學生・保護者の皆様、卒業生の皆様、実習や就職等でお世話になっております保育所・幼稚園・こども園・施設の皆様、そして羽生市長をはじめとする行政の皆様、地域の皆様方には筆舌に尽くせぬ温かいご支援を頂いておりますことこの場をお借りして改めて深く御礼申し上げる次第です。

この羽生の地にご縁あつて40年。設立当初より今日に至るまで決して順風満帆というわけにはいかず、むしろ波乱万丈という歳月であつたように思えます。一時は大幅な定員割れという状況にも陥り存続の危機に瀕した時期もございました。にもかかわらず藤田学長、小澤学科長をはじめとする教職員の努力により短期大学としては奇跡的なV字回復を遂げ、羽生市の経済発展や地域活性化に伴い、地域の子育て支援や大学間連携等の地域活動を通してようやく多くの方から愛される学校になったことに、心から喜びを覚えている次第です。

多くの卒業生たちがそれぞれの立場で社会に貢献をしていることもまたこの40年間の成果と言えると思います。社会で活躍する卒業生によってこれから社会に出ようとする在學生の道が開かれることこそ埼玉純真短期大学に対する信頼の証であり、それを損なうことなく時代に繋げていくことこそが我々の使命であることを改めて心に刻む所存です。

結びに当たり、少子化の中にあつて次の10年が見えない時代でもありますが、今後とも埼玉純真短期大学へのご支援とご協力をお願いいたしましてご挨拶に代えさせていただきます。

学校法人 純真学園
 埼玉純真短期大学 学長 藤田 利久



1983年は本学にとって記念すべき創立の年です。学園理事長で初代学長の福田敏南先生が「純真なる精神を持って地域社会の文化センターたらんことを期す」と本学を羽生の地に創設して以来40年、紆余曲折を経ながらも地域のみなさまはじめ多くの方々のご理解とご支援のおかげをもちまして、本学は今日のこの日を迎えることができました。

創立10年目の1992年ピークとして以降、18歳人口の減少などから大学・短期大学の定員割れや募集停止が報道されております。本学も2006年には英語コミュニケーション学科、2007年には乳幼児保育学科第二部の募集停止をし、2008年以降はこども学科単科の「信頼される保育者養成」に特化した短期大学を目指して取り組みました。一時期入学定員の半数にまでに落ち込んだ入学生も、教職員の努力と地域の皆さまのご支援とご協力のおかげで徐々に回復し、現在に至っております。

この回復の大きな要因は今後さらに重要となる特別支援教育を本学の根幹に据えた教育をしたいと臨んだ文部科学省委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択されたことにあります。この「特別支援教育」講座を地域教育関係者や一般を対象に継続的に実施し、本学の教育への取り組みを理解していただけたことがあげられます。この講座を成功に導くために本学の教員は特別支援教育をそれぞれの専門的領域から研究し、講座に臨みました。この結果、本学の評価も高まり、入学者も増加するといった向上スパイラルが生まれました。

今後も少子化が進行し教育機関にとっても厳しい状況が予想されますが、本学はこれからもみなさまのご支援を受けながら、地域に貢献できる高等教育機関としてあり続けたいと考えております。

この度、埼玉純真短期大学が創立40周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴学は、昭和58年に、学校法人純真学園により、その崇高な教育理念のもと、ここ羽生の地に創立されました。創立当時は、国道122号沿線の田園風景の中に広がるキャンパスとその風景の中を登下校する学生たちの姿が印象的で、今も私たちの心の原風景の一つとして、残っております。

その後、羽生駅の西口が整備され、現在は、岩瀬土地区画整理事業の進展により、国道沿線には多くの商業施設が店出し、平成30年には羽生総合病院が新築移転オープンするなど、より便利で暮らしやすいまち「愛藍タウン」が形成されております。

このように40年という歳月が流れ、今日の日を迎えられたことは、我々羽生市民にとりまして、非常に感慨深いものがございます。

この間、貴学が、教育や保育をはじめとする

様々な分野の第一線で活躍できる人材、すなわち、豊かな人間性と確かな指導力を有する多くの有為な人材を輩出してこられたことは、誠に喜ばしく頼もしい限りでございます。

これもひとえに、藤田利久学長をはじめとする教職員の皆様のためめご努力の賜物であると、心より敬意を表する次第であります。

また、「羽生市学びあい夢プロジェクト」や「子ども大学はにゅう」の開講など、羽生市政にも幅広くご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

貴学におかれましては引き続き、学園訓(建学の精神)である「気品・知性・奉仕」に基づき、健康にして良識ある人格高き社会の指導的人物を育てていただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、埼玉純真短期大学の限りないご発展と、関係皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。



埼玉県羽生市
市長

河田 晃明

多くの方に支えられ、40周年を迎えられますことは大きな喜びです。心より感謝申し上げます。

本学の開学が1983年、私が非常勤講師として赴任したのは開学4年目でした。のどかな中に全てが動き出したばかりのフレッシュな大学という雰囲気が印象的でした。その後、2000年に専任講師となり、授業だけでなく職務を担わせていただき23年目になります。その時間の中で大学と共に成長させていただいたと感じております。

私はこの大学が大好きで、大学名「純真」という響きがとても素敵だと思っています。そして、本学の学園訓「気品」「知性」「奉仕」は、人として、保育者としてとても大切なものであると学んできました。それを学生に伝え、「純真」という冠にふさわしい人間となって社会に出ていって欲しいと願っています。

今日も明るい笑顔と挨拶が学内に広がります。これからも魅力ある大学を目指して進んでいけるよう努力して参ります。



埼玉純真短期大学
創立40周年記念実行委員会
実行委員長

小澤 和恵

埼玉純真短期大学が、40周年を迎えられたこと、謹んでお祝い申し上げます。

これまでに約7000名を超える卒業生を送り出していただいた教職員の方々に、心より敬意を表したいと思います。今、卒業生は社会に羽ばたき、様々なところで大いに活躍されています。全ての卒業生、そしてこれからの学生たちにエールを贈りたいと思います。

私が在学していた頃は、英語学科、児童教育学科初等教育学専攻、児童教育学科幼児教育学専攻、幼児教育学科二部と4学科がありました。学生時代は他学科の人たちと交流する機会は

なかなかありませんでしたが、今は同窓会という活動の中で、学科を問わず交流をし、卒業生と母校の架け橋となれるよう活動をしております。

今後更に、専門性、人間性、使命感、責任、思いやり等々が求められる時代となるでしょう。埼玉純真短期大学の学びにおいてこれらの能力の修得、これまで培ってきた教育の歴史は更に発展し受け継がれていくと確信しております。

最後になりますが、埼玉純真短期大学の益々のご発展とみなさまのご健勝、ご活躍を心より祈念いたします。



埼玉純真短期大学
同窓会「秋桜会」
会長

小林 ひかり

木々の緑が色濃くなり、夏の気配が感じられるこの良き日、埼玉純真短期大学は創立40周年を迎えることができました。学生一同、喜びの気持ちでいっぱいです。

先輩方が築きあげてくださった伝統を引き継ぎながら新しい伝統、埼玉純真短期大学を作っていきたいと思っております。

埼玉純真短期大学は、社会的状況を適切に捉えるための学習に加え、こどもと触れ合い、保育・教育の実践者と協働する多くの実習経験を積み、専門的知識と実践力のある保育者・教育

者を目指しております。また、「気品」「知性」「奉仕」の3つを学園訓として掲げており、これを身につけた良き保育者となる為に日々勉学に励んでおります。たくさんの自然に囲まれながら整った施設設備、学生をよく理解して下さる教職員の皆様などとても環境に恵まれています。

コロナ禍も終息に向かい、今までの日常生活も戻り始め、制限も緩和されていく中でさらなる発展へと繋げられるよう精進していくことを誓い、お祝いの言葉とさせていただきます。



埼玉純真短期大学
学生会
会長

齋藤 七海



40年のあゆみ

埼玉純真短期大学事項

1983

昭和58年

1983

昭和58年4月1日

埼玉純真女子短期大学開学

- ・英語学科 (100名)
- ・児童教育学科 (100名)
- ・幼児教育学科第二部 (50名)

福田敏南、
初代学長就任



(当時の入学式の様子)

2000

平成12年

2000

平成12年2月

福田順忠、第2代学長就任

平成12年12月

中澤 鐵、第3代学長就任

2004

平成16年4月1日

学科及び専攻課程の名称を変更

- ・英語学科 → 英語コミュニケーション学科
- ・児童教育学科 → こども学科
- 〔 初等教育学専攻 → こども学専攻
幼児学専攻 → 乳幼児保育専攻 〕
- ・幼児教育学科第二部 → 乳幼児保育学科第二部

2005

平成17年4月1日

入学定員を変更

- ・英語コミュニケーション学科
100人 → 50人
- ・こども学科 100人 → 150人

こども学科の専攻を廃止

2006

平成18年4月

英語コミュニケーション学科
募集停止

1985

昭和60年10月1日

体育館竣工



1986

昭和61年9月1日

プール竣工

一般事項

東京ディズニーランド開園 (1983)

つくば博開催 (1985)

男女雇用機会均等法施行 (1986)

新札発行 (2004)

愛・地球博開催 (2005)



2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013
 平成 19 年 平成 20 年 平成 21 年 平成 22 年 平成 23 年 平成 24 年 平成 25 年

2007

- 平成 19 年 4 月 1 日
埼玉純真短期大学に校名変更
- 乳幼児保育学科第二部募集停止
- 藤田利久、第 4 代学長就任



平成 19 年度文部科学省委託事業
「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」採択

2008

- 平成 20 年 8 月
教員免許更新制に伴う
予備講習実施
- 英語コミュニケーション学科廃止

2009

- 平成 21 年 4 月
埼玉純真短期大学
外部評価委員会 設置

2010

- 平成 22 年 3 月
第三者評価適格認定
(財団法人短期大学基準協会)
- 乳幼児保育学科第二部廃止
- 平成 22 年 5 月
羽生市
「学びあい夢プロジェクト」
協議会発足



2011

- 平成 23 年 4 月 1 日
入学定員変更
・こども学科 150 人 → 120 人

2012

- 平成 24 年 3 月
中庭にカフェテリア設置



- 福田敏南初代学長
第 2 代理事長の顕彰碑除幕

- 子ども支援センター設置



- 平成 24 年 5 月
創立 30 周年を祝う会開催



2013

- 平成 25 年 3 月
木の子(多目的教室) 完成



- 学生食堂周辺整備

- ・学生食堂調理室改装
- ・渡り廊下をバリアフリーへ
改装

- 第三者評価適格認定
(第 2 クール)
(財団法人短期大学基準協会)

- 千葉敬愛短期大学との
相互評価実施

リーマン・ショック (2008)
裁判員制度開始 (2009)

東日本大震災 (2011)

東京スカイツリー竣工 (2012)
富士山世界遺産へ (2013)



2014

平成26年

2014

平成 26 年 3 月
入学定員を変更
・こども学科 120人 → 150人

理科実習室を教養実践室へ改装



私立学校施設整備費補助金 (ICT 活用推進事業) 交付
(全教室プロジェクター取り付け)



平成 26 年 11 月
羽生市と埼玉純真短期大学との
地域連携協力に関する協定締結



平成 26 年 12 月
埼玉県立誠和福祉高等学校と
高大連携に関する協定締結

2015

平成27年

2015

平成 27 年 2 月
埼玉県立進修館高等学校と
高大連携に関する協定締結

平成 27 年 3 月
スタッフルーム (旧 図画工作研究室) と
保育実践実習室 (旧 302 教室) 改装



平成 27 年 9 月
山村学園短期大学との相互評価実施

平成 27 年 11 月
埼玉県立羽生第一高等学校と
高大連携に関する協定締結

2016

平成 28 年 3 月
平成 27 年度私立大学等
改革総合支援事業
タイプ I 教育の質的転換
「私立大学等教育研究活性化
設備整備事業」により教室整備
(アクティブ・ラーニング)



平成 28 年 9 月
岩国短期大学と相互評価を実施

2017

平成 29 年

2018

平成 30 年

2019

平成 31 年
令和元年

2021

令和 3 年

現在

2017

平成 29 年 3 月
インドネシア共和国バリ州
サラスワティ外国語大学と交流協定締結



(本学学生と教員の研修風景)

平成 29 年 10 月
行田市教育委員会と埼玉純真短期大学との
地域連携協力に関する協定締結

2018

平成 30 年 3 月
インドネシア共和国バリ州
国立ガネシャ教育大学と交流協定締結



(本学学生と教員の研修風景)

平成 30 年 5 月
学習棟学生用トイレ改修

平成 30 年 11 月
平成国際大学・ものづくり大学との
3 大学連携協定締結

2019

平成 31 年 1 月
ものづくり大学と本学との共同研究事業
(おひさまランドへ教室改装)



平成 31 年 3 月
認証評価適格認定
(財団法人短期大学基準協会)

令和元年 11 月
ピアノ個人レッスン室 防水対策・リニューアル



2021

令和 3 年 1 月
ものづくり大学との
共同研究プロジェクトにより
「キッズハウス」設置



将棋の藤井四段が歴代最多連勝記録を 29 に更新 (2017)
アメリカ トランプ政権発足 (2017)

天皇陛下即位「令和」に改元 (2019)
新型コロナウイルス流行 (2020)
東京オリンピック 1 年延期で開催 (2021)



学びの環境

本学では、「気品・知性・奉仕」の学園訓(建学の精神)に基づき、「健康にして良識ある人格高き社会の指導的人物を養成すること」を使命としております。この学園訓を具現化した教育課程を編成しています。

また、「愛情」「健康」「明るさ」など保育者としての基本的資質の上に、保育・教育に必要な専門的知識と技術の習得を確実なものとするため、理論と実践の科目をバランスよく配置しています。また、社会人として職業人としての責任を自覚し、広い視野で行動できるようにと教養実践室、地域の子どもたちとの交流にも使用する模擬保育室、快適に使用できる冷暖房完備のピアノ個人レッスン室、パソコン教室の開放等、学生の学びをサポートするため常に学習環境の整備と改善を行っています。

大講義室



音楽室



アクティブラーニング教室



保育実践実習室



模擬保育室



グラウンド



体育館



ピアノレッスン室



教養実践室



図書館

年間行事

2年間という短い学生生活の中で様々な体験や経験、そして日本の文化に寄り添いながら充実した日々を過ごせるよう数多くのイベントを用意しています。

平成28年にはインドネシア共和国バリ州のサラスワティ外国語大学・平成29年には国立ガネシャ教育大学と交流協定が締結され、訪問と交流が深められることは、グローバル化が急速に進む現代での学生の視野を広げられる好機となりました。

また、教員や学生が仮装して授業を受けることが出来る、<純真ハロウィンデー>は、広く紹介され反響を呼びました。

学生が経験を通じて得た感動を次代の子どもたちに伝えられるよう文化継承への意識づけを大切にしています。

-
- 4月
- ・入学式・新入生研修
 - ・オリエンテーション
 - ・前期授業開始
 - ・スポーツ大会
-

- 5月
- ・幼稚園実習(応用)
 - ・自宅外通学生の懇親会
 - ・保護者会
 - ・学外研修
-

- 7月
- ・保育所実習(前半)
-

- 8月
- ・夏季休業
 - ・前期定期試験
-

- 9月
- ・幼稚園実習(観察)
 - ・保育所実習(後半)
 - ・マッチングフェア(合同就職説明会)
 - ・後期授業開始
-

- 10月
- ・避難訓練
 - ・純真祭
 - ・純真ハロウィンデー
-

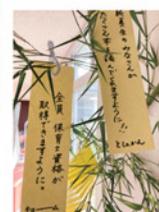
- 11月
- ・自宅外通学生の懇親会
-

- 12月
- ・冬季休業
-

- 1月
- ・表現発表会
 - ・後期定期試験
 - ・教職実践演習(幼)発表会
-

- 2月
- ・施設実習
-

- 3月
- ・学位授与式
 - ・謝恩会
 - ・新2年生オリエンテーション
-



学生生活 と 実習

学習成果の獲得に向けて学生の生活支援を組織的に行っています。

学生が安心して楽しく充実した2年間を過ごせるよう、個人の能力にあわせた指導、様々な奨学金や貸与制度、チューター制、ひとり暮らし用の委託アパート、送迎バス、学生食堂などサポート体制も充実しています。

サポート

奨学金関連

日本学生支援機構

保育士修学資金

福田敏南記念育英

羽生ロータリー奨学金

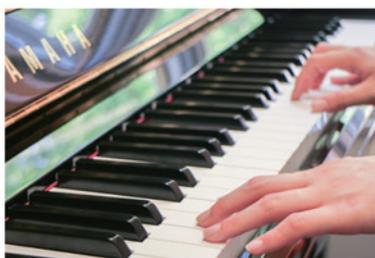
高等教育の
修学支援新制度
(授業料等減免と給付型奨学金)

学生保険

学生教育研究災害傷害保険

学研災付帯賠償責任保険

入学金免除制度



レベルにあわせた個人レッスン



チューターグループで進路相談



感性を育てるエリアの充実



羽生駅と学校を結ぶ無料送迎バス



安心の委託アパート



メニュー豊富な学生食堂

保育士資格、幼稚園教諭免許状取得のために必修である実習には「実習マニュアル」を作成し、テキストとして使用して丁寧な事前・事後指導を行っています。なかでも実習を終えた2年生から1年生への伝え合いの実施は実習へのモチベーションを高める機会となっています。



事前指導



実習風景



事後指導

クラブ活動と学生会

現在、運動系9団体、文化系9団体の部長及び部員(学生)、顧問(専任教職員)で組織されており、活発な活動を行っています。

特に、バレーボール部及びバスケットボール部においては、全国私立短期大学体育大会にてこれまで好成績を収めており、また、文化系クラブではスマイルサークルが、「さいたま水族館」(羽生市)にて定期的に子どもたちを集めて手遊びや絵本の読み聞かせ、パネルシアターなどを行う「スマイル幼稚園」の活動を継続して実施しています。

令和4年には、書道部が高円宮杯日本武道館写書道大覧覧会へ出品し表彰されるなど、今後のクラブ活動及び学生生活ががさらに楽しく充実したものになると期待されます。

運動系

- ・バレーボール部
- ・バトミントン部
- ・ソフトテニス部
- ・ソフトボール部
- ・バスケットボール部
- ・ハンドボール部
- ・フットサル部
- ・卓球部
- ・フィットネス部

文化系

- ・家政部
- ・Music Lovers
- ・軽音楽部
- ・漫画アニメ研究部
- ・写真部
- ・プロコロ
- ・スマイル
- ・茶道部
- ・書道部
- ・ウエルフェア



学生会は、全学生が加盟する学生自治組織として位置づけられており、学生主体の学校行事及びクラブ・サークル活動の組織運営を行っています。

また、学生会執行部は、オープンキャンパスでの受付業務、会場案内、キャンパスツアーの運営、模擬授業のサポート等を積極的に行っています。見学等に来学した高校生・保護者に対する親切・丁寧な対応は本学学生の模範となっています。

JUNSHIN



地域社会と子ども

本学は、地域社会を重視し、地域に貢献する短期大学(コミュニティカレッジ)としての役割を標榜して、地域社会を重視した教育活動を行っています。

地域に向けた公開講座の実施、教職員と学生のボランティア活動等を通じて地域社会に貢献しています。

主な事例

市民公開講座

子ども大学はにゅう

発達障害・特別支援教育の研究セミナー

高校生(学び)夢プラン

羽生市・加須市・行田市の中学生対象
中学生オープンカレッジ・公開授業

子ども支援センター



市民公開講座は地域の方々に好評



講師は本学教職員や市民の方々



多岐にわたる講座



市民公開講座修了パーティー

平成22年に羽生市教育委員会の協力のもと発足した「羽生市学びあい夢プロジェクト協議会」は、市内の保育所、幼稚園、児童福祉施設、小学校、中学校、高等学校や関連教育機関と連携し、羽生の教育の充実と発展のため事業を展開しています。

その一つである「子ども大学はにゅう」は、羽生市教育委員会生涯学習課、羽生ロータリークラブ、羽生青少年相談員協議会と本学が実行委員会を構成し、市内の小学校4年生～6年生の児童を対象とした、学びに興味を持てる授業を行っています。

平成23年度からは、「はてな学」「生き方学」「ふるさと学」の3つのコンセプトで、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供し、地域の子どもの健全育成を図っています。



「子ども大学はにゅう」開学記念樹



子どもたちは興味津々



障がいスポーツを体験で学ぶ貴重な機会



地域の活性にもつながる

「地域連携協力に関する協定」を平成26年に羽生市、平成29年に行田市と締結しました。

また、「高大連携に関する協定」を、平成26年に誠和福祉高等学校、平成27年進修館高等学校、羽生第一高等学校と締結しました。

平成30年には、埼玉県東部地区(旧北埼玉郡)3大学(平成国際大学・ものづくり大学・埼玉純真短期大学)が互いに異なった教育分野の特長を生かし、それぞれの大学の教育力を高めながら、地域貢献を図ることを目的として「連携協力協定」が締結されました。



高大連携授業



中学生のためのオープンカレッジ



ものづくり大学との共同研究プロジェクト

ボランティア活動については、羽生市社会福祉協議会と連携しながら活動を行うとともに、本学独自の活動を行っています。

社会福祉協議会との連携では全学生がボランティア登録をし、羽生市ボランティア連絡協議会の会員になっており、教員による一元管理のもと、地域からの数多くの要請に応じています。

また、地域の保育所・幼稚園・小学校の子どもたちとの交流の機会も数多く設けられています。この交流は地域密着型短期大学としてのより良い実践教育の場となっています。



近隣のお寺でボランティア活動



書店での読み聞かせ（ボランティア）



お隣の岩瀬小学校のみんなと



中庭で季節を感じながら交流



図書館

初夏から秋にかけて、保育所や幼稚園での実習が行われます。

実習先では、絵本や紙芝居の読み聞かせをする機会も多いため、学生たちは日頃からたくさんの児童文学に触れ、乳幼児の発達との関係について専門的に学んでいます。

実習前には、図書館を訪れ、真剣な表情で絵本を選ぶ多くの学生の姿があります。

また、日頃の授業においても図書館を利用する機会は多く、教育・保育・福祉分野を中心とした専門書を数多く揃え、学生の学びを支えています。



2014年(平成26年)より読書感想文コンクール、2020年(令和2年)より童話コンテストを実施しています。様々な企画を通じて「読み、考え、書く」機会を提供しています。



2020年(令和2年)8月より未来屋書店羽生店とのコラボレーション企画として、2年生と図書

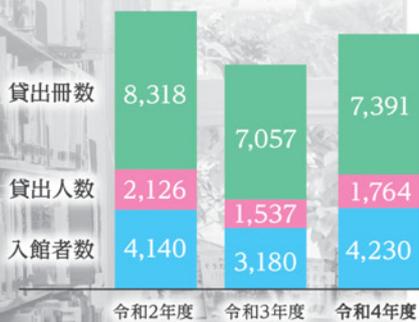
委員が作成した絵本紹介POPの展示コーナー「埼玉純真短期大学図書館と保育を学ぶ学生さんが選ぶ絵本」を開始。隔月でテーマを替えながら、2023年現在も継続中です。



蔵書数等

視聴覚資料数	56,365
学術雑誌数	54
視聴覚資料数	1,718

令和5年3月31日現在 (単位:冊、点)



令和2年度 令和3年度 令和4年度 (単位:冊、人)

学生図書委員会の活動



およそ30名の学生が所属しています。季節の絵本展示コーナーづくりや書架整理、純真祭では、図書館ブース出店や絵本紹介POP展を開催し図書館の活動をサポートしています。

選書ツアーへの参加や未来屋書店での絵本の読み聞かせなど、ボランティア活動も行っています。



大学案内表紙 2013～2024

毎年春に発行される大学案内の表紙は『こども学科』にちなみ、可愛いこどもたちが飾っています。

モデルちゃんは、本学関係者のお子さんであったり、お孫さんであったり、兄弟でモデルになってくれた子たちもいます。

いずれこの子たちが成長し、「親子2代でモデル」ということが実現するかもしれません。

2013



2024

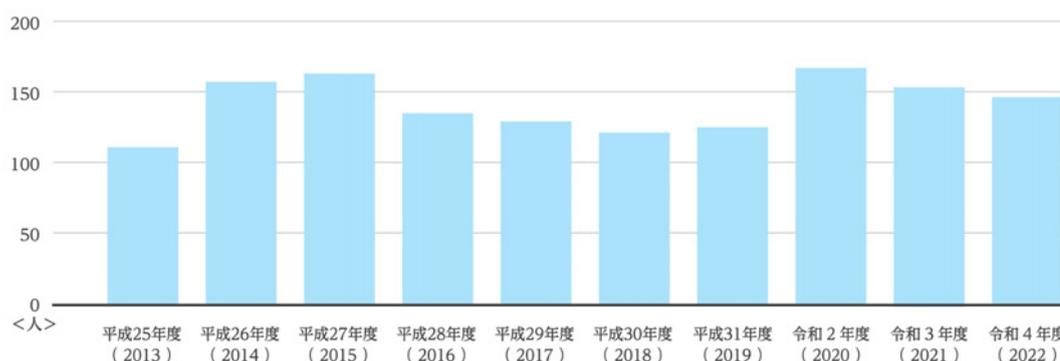


卒業生数

平成25年度～令和4年度の卒業生数

区分	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
こども学科	111	157	163	135	129	121	125	167	158	146

(単位：人)



学校基本調査に基づく入学定員、入学者数、入学定員充足率、収容定員、 在籍者数、収容定員充足率

※令和5年5月1日現在

学科等の 名称	事項	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
こども 学科	入学定員	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
	入学者数	173	136	135	129	132	172	158	150	143	127
	入学定員充足率 (%)	115	91	90	86	88	115	105	100	95	85
	収容定員	270	300	300	300	300	300	300	300	300	300
	在籍者数	333	309	271	264	259	302	329	307	291	268
	収容定員充足率 (%)	123	103	90	88	86	101	110	102	97	89

(単位：人、%)

就職者数

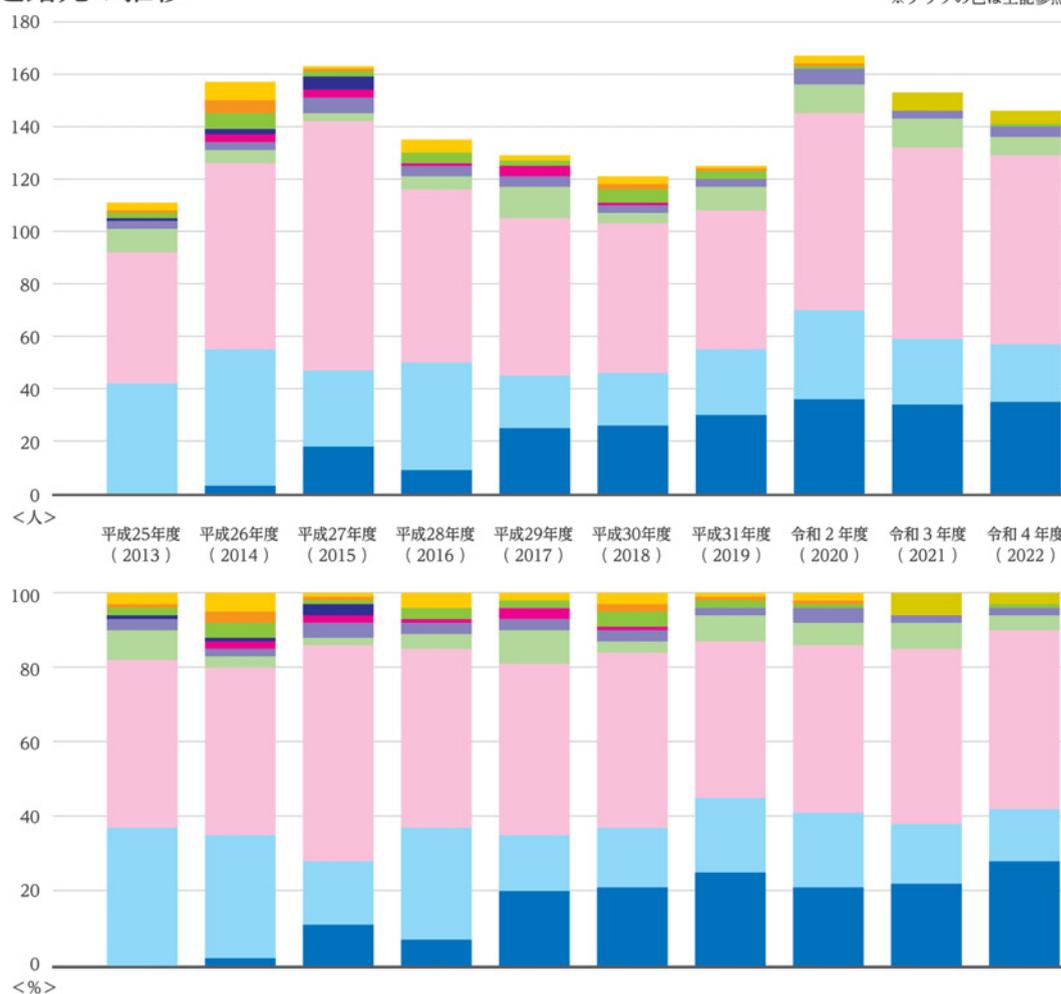
進路の推移

進路先	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
就職	107	145	161	130	127	116	123	163	146	141
こども園	—	3	18	9	25	26	30	36	34	35
幼稚園	42	52	29	41	20	20	25	34	25	22
保育所	50	71	95	66	60	57	53	75	73	72
施設	9	5	3	5	12	4	9	11	11	7
公務員	3	3	6	4	4	3	3	6	3	4
学童保育室	0	3	3	1	4	1	0	0	0	0
小学校	1	2	5	—	—	—	—	—	—	—
企業	2	6	2	4	2	5	3	1	0	1
進学	1	5	1	0	0	2	1	1	0	0
未定	3	7	1	5	2	3	1	3	7	5
卒業生数	111	157	163	135	129	121	125	167	153	146

(単位：人)

10年間の進路先の推移

※グラフの色は上記参照



3つのポリシー

【ディプロマ・ポリシー】

本学は「気品・知性・奉仕」の学園訓（建学の精神）に基づき、「健康にして良識ある人格
高き社会の指導的人物を養成すること」を使命としています。この学園訓の具現化を意図し
て教育課程を編成しています。この教育課程における単位認定基準（知識・技術・態度等の
達成度）によって認定された単位が卒業要件を満たし、かつ、社会人、職業人として自覚と
責任を持った行動ができると判断した学生に学位を授与します。

【カリキュラム・ポリシー】

本学は「こども学科」単科の大学で、保育士・幼稚園教諭などの保育者養成を目的として
いることから、本学の学園訓に則り、次のことを意図して教育課程の編成と授業展開をして
います。

- ① 「愛情」「健康」「明るさ」など保育者としての基本的資質の上に、保育・教育
に必要な専門的知識と技術の修得を確実なものとするため、理論と実践の科
目をバランス良く配置するとともに、社会人として職業人としての責任を自
覚し、広い視野で行動できるように科目を設けている。
- ② 子どもを取り巻く環境に興味と関心の目を向け、豊かな知識と技術に裏付けら
れた責任感や行動力を備えた保育者を目指し、問題発見や問題解決に積極的
に取り組む意識と能力を養成するため、アクティブ・ラーニング方式で学ぶ
科目を多く配置している。
- ③ 現代的諸問題に常に関心を持ち、社会の問題を自己の問題として捉え、考え、
地域に貢献できる保育者となれるよう、外部講師招聘・キャンパス外での授業、
地域の子ども達と交流を深める授業など多角的な授業展開ができるような科
目を配置している。

【アドミッション・ポリシー】

本学の学園訓である「気品」「知性」「奉仕」の精神を理解し、「健康にして、良識ある人格
高き社会の指導的人物を養成し、地域の発展に寄与する」という教育目標に応え、積極的に
学ぶ意欲と自らを高める努力を怠らない人物で、本学において学びたいという強い意志と意
欲を持った人物を求めます

- ① 子どもの教育や保育に関わる仕事に就きたいと考える人
- ② 子どもを取り巻く環境や問題に興味や関心が高い人
- ③ 教育や福祉問題に関心を持ち、地域社会に貢献したいと思う人

記念式典

埼玉純真短期大学創立40周年記念事業実施

場所 羽生市産業文化ホール
月日 令和5年6月22日(木)
受付 12時30分より (開場13時)
開式 13時30分
式典 13時30分～14時20分

講演① 14時40分～15時20分

東京大学名誉教授 白梅学園大学名誉学長
社会福祉法人五豊会理事長

汐見稔幸 先生
豊永せつ子 先生

講演② 15時30分～16時10分

洗足学園音楽大学客員教授 作曲家
声楽家 音楽博士 本学客員教授

青島広志 先生
原田勇雅 先生

ロビー展示

1. 乳児保育I・IIグループワーク発表 模造紙8枚程度 (加藤)
2. 自閉症向け支援ツール・自立課題・自閉症向けアイテム (布施ゼミ)
3. 童話コンテスト受賞作品 (図書館運営委員会)
4. 実践研究幼稚園(前)1年生 手作り名札・自己紹介カード (花島)
5. ラーニングストーリー (花島ゼミ)

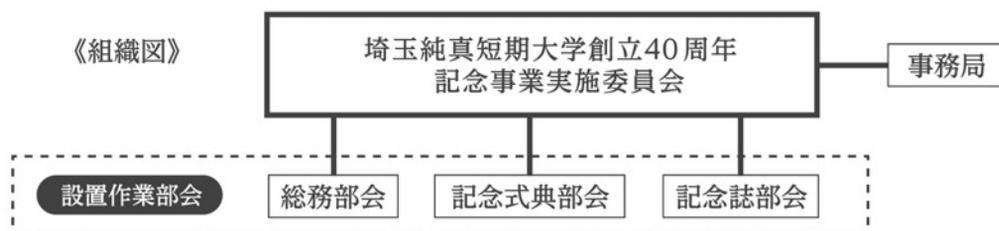
記念品

キャンパストートバッグ





創立40周年記念事業実施委員会



埼玉純真短期大学創立40周年記念事業実施委員名簿

令和4年度			令和5年度	
理事長	福田 庸之助	顧問	理事長	福田 庸之助
学長	藤田 利久	顧問	学長	藤田 利久
学科長・教務部長	小澤 和恵	委員長	学科長	小澤 和恵
学生部長	加藤 房江	副委員長	学生部長	加藤 房江
学園理事	吉田 寛	委員	学園理事	吉田 寛
学園理事	伊藤 穰	委員	学園理事	伊藤 穰
同窓会長	小林 ひかり	委員	同窓会長	小林 ひかり
同窓会役員	秋山 知世	委員	同窓会役員	秋山 知世
図書館長	持田 京子	委員	教務部長	布施 由起
進路支援部長	高橋 努	委員	図書館長	山畑 昭司
入試広報委員長	平井 厚志	委員	進路支援部長	高橋 努
実習部長	花島 慶子	委員	入試広報委員長	小澤 俊太郎
事務局長	上原 典子	委員	実習部長	花島 慶子
事務局長補佐	水野 浩	委員	事務局長	水野 浩

埼玉純真短期大学創立40周年記念誌

発行日 令和5年6月22日
編集 埼玉純真短期大学創立40周年記念誌部会
デザイン TERASU340
印刷 関根印刷所
発行 埼玉純真短期大学

〒348-0045 埼玉県羽生市下岩瀬 430 番地
TEL 048-562-0711 (代) FAX 048-562-0715

